

ID:

患者氏名:

様

	入院当日(～治療前日)	化学療法当日	治療2日目	治療3日目～	退院日	
	月 日(～ 月 日)	月 日	月 日	月 日～	月 日	
<b>目標</b>	治療の経過が分かる	予定どおりに治療が終了する	症状出現時は適切な対処が受けられる		退院時指導の内容が分かる	
<b>説明・指導</b>	入院・治療について説明を行います。 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。 ふらつき・めまい等があるときは必ず看護師を呼んでください。 副作用症状がひどいときは、遠慮せずに話してください。			退院指導を行います。（生活指導や次回外来再診日の連絡） 次回から外来化学療法を行う場合は、外来化学療法室のご案内・説明を行います。	
<b>治療処置点滴</b>		9時頃 点滴の針を入れ、準備します。	2日目から 体調が悪かったり、尿量が少ない ときには、点滴をすることも あります。		抗癌剤の主な副作用 発症時期による症状と対処方法について  <b>【投与直後から数時間】</b> 発疹・発赤・顔のほてり・かゆみなどのアレルギー症状 → 抗アレルギー剤投与 <b>【投与から1～2日後】</b> 便秘症 → 便秘薬（緩下剤）の内服 はき気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 → 吐き気止めの内服 <b>【投与から数日間経過してから】</b> 白血球減少 → G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射 貧血 → 輸血（頻度は稀です） 血小板減少 → 血小板輸血（頻度は稀です） <b>【投与から1～2週間経過してから】</b> 脱毛 → かつらやバンダナなどを使用 味覚の変化 → 味付けの工夫、うがいや亜鉛製剤の内服	
スケジュール						
①		15分				アロキシという吐き気止めとデキサートというアレルギー予防剤の点滴をします。
②		1時間				ソルデム3Aとマグネシウムという腎障害予防の点滴をします。
③		5分				フロセミドという利尿剤を点滴します。
④		1時間				ドセタキセルを点滴します。
⑤		1時間30分				シスプラチンを点滴します。
⑥		1時間				ソルデム3Aとマグネシウムという腎障害予防の点滴をします。
⑦	5分	点滴の管を流すため、生理食塩液を点滴します。				
終了後、点滴の管をとめます。						
<b>内服</b>	 現在飲んでいる内服薬の確認をします。内服薬は基本的に継続内服とします。 点滴開始時にイメンドという吐き気止めを飲みます。			治療2日目～3日目 朝食後にイメンドという吐き気止めと デカドロンというアレルギー止めを飲みます。	外来でも、吐き気止めや便秘薬の処方を行います。	
<b>検査</b>	次の検査をすることがあります。 血液検査 胸のレントゲン 心電図検査 	6時 体温・血圧を測ります。 尿量を測定するので、用紙に1回量の記載をしてください。（治療当日6時～治療4日目6時まで）		体調などをみて血液検査を行います。 	外来で採血をして、骨髄抑制（白血球減少、貧血、血小板減少）の有無を確認します。 白血球減少が認められた場合は、次回の化学療法を延期し、白血球を増加させる薬を注射することがあります。 うがい、手洗いをし、マスクをつけ感染予防をしてください。	
<b>食事</b>	基礎疾患（糖尿病・高血圧など）に応じて治療食をお出しすることもあります。 	食欲に応じて食事変更出来ますので、医師・看護師に話してください。				
<b>生活・行動</b>	特に行動に制限はありません。				*1コース21日で以下の予定で行います 1 8 15 21 ドセタキセル     シスプラチン    	
<b>清潔</b>	入浴、またはシャワー浴ができます。 	点滴治療中以外は、入浴、またはシャワー浴ができます。 点滴の針が濡れないようにできますので入浴またはシャワー浴のときはお知らせください。 体調が悪く、入浴・シャワー浴が出来ないときには看護師が援助します。				
<b>その他</b>	入院後に熱が出た場合は、化学療法を延期していったん退院していただくことがあります。 入院に、付き添いは必要ありません。	抗癌剤点滴開始初期（特に10分以内）に発疹などのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なものでおさまりますが、症状が出現した場合は申し出てください。				

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。